令和８年６月

各　位

一般社団法人　農業開発研修センター
会 長 理 事　増　　田　　佳　　昭
［公　　印　　省　　略］

令和８年度（通算第５５回）農協問題総合研究会の開催について

拝　啓　時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当センターでは、地域農業の振興・活性化とＪＡの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。今回の研究会では、ＪＡをめぐる厳しい情勢変化を見据えるとともに、改めて「ＪＡの理念と存在意義」を確認しつつ、今後のＪＡの改革課題と対応方向を探ることをねらいに、企画・開催します。

本研究会の対象として、貴団体・機関の関係者、なかでもＪＡトップ層（常勤役員、特に初任者）や、ＪＡの部門管理層、中核人材研修受講者、さらには都道府県の農協指導検査部署の担当者の方々を想定しておりますが、協同組合や農業協同組合に関心を持つ多数の方の参加を期待します。業務ご多忙の折とは存じますが、ご参加につき格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。また、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたします。

なお、令和６年度より、年７回の研究会について「年間予約コース」を設定していますが、昨年度から「営農経済コース」と「金融・共済コース」を設定しました。本研究会は各コースの初回となります。各コース参加も併せてご検討いただき、ぜひ多くの方にご参加いただければ幸いです。

敬　具

令和８年度（通算第５５回）

農協問題総合研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

≪趣　旨≫

わが国経済は、2023年から緩やかながらも成長を続けていますが、世界経済の不確実性や円安の影響もあり、成長ペースはやや鈍化しています。特に、2022年以降のエネルギーや食品価格の上昇に加え、中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰により、今後の見通しはきわめて不透明な状況にあります。

このことはわが国農業にも大きな影響を及ぼすことは避けられず、農業資材等の高騰・高止まりをはじめ、農業経営をめぐる情勢は厳しく、不安定な状況となっています。ＪＡをめぐる情勢をみると、組合員の高齢化・減少や結集力低下などの組織問題に加えて、情勢変化にともなうＪＡ経営収支の変動など、きわめて不透明な事態に直面しています。他方で、混迷の時代だからこそ協同組合としてのＪＡへの社会的期待も高まっています。

そこで本研究会では、ＪＡをめぐる厳しい情勢変化を見据えるとともに、改めて「ＪＡの理念と存在意義」を確認しつつ、今後のＪＡの改革課題と対応方向を探ることをねらいに、企画・開催します。

期　　間：令和８年７月１５日（水）～１７日（金）

会　　場：京都ＪＡビル　２０１・２０２会議室（別図参照）

対　　象：①単協、都道府県中央会・連合会・県本部、全国連の役員及び職員（特に管理職）
②ＪＡトップ層（常勤役員、特に初任者）や、ＪＡの部門管理層（企画部署の部課長）、また幹部候補（中核人材研修受講者、修了者）
③都道府県などの地方自治体の農協指導検査部署の担当者
④その他、協同組合、農業協同組合に関心を持っている方

定　　員：７０名程度

昼　　食：
１６日㈭に弁当（１，４００円（税込））を準備します。参加申込書からお申し込みください。

参 加 費：　（税込・一人当たり）

会　　員 <>内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	５９，４００円＜５３，９００円＞
非　会　員 <>内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	８９，１００円＜８０，３００円＞
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和８・９年度の会友会費10,000円を含む）	６３，９００円

注１：会員は、会員所属者および令和７年度以前からの会友（個人会員）の金額です。
注２：令和７年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙もしくは当センターホームページをご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

懇 談 会：
参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。
＜開催予定日時＞
と　　き：７月１６日（木）　１７：３０～（９０分程度）
と こ ろ：ホテル京阪京都グランデ「光林」（京都ＪＡビルより徒歩約５分）
懇談会費：７，０００円（消費税込）

申込方法：
①５ページの参加申込書をファックスで送信してください。
②受付完了通知をメールまたはファックスで送信しますので、参加費（昼食代）と懇談会にご参加される方は会費を送金してください。なお、振込手数料はご負担ください。

〈振込先〉
京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）
本　　店　　当座　　口座番号：６３７３２９１
京都銀行　京都駅前支店　　普通　　口座番号：３１６４０７３
口座名義：一般社団法人農業開発研修センター（シヤ）（ノウギヨウカイハツケンシユウセンター）

申込締切日：７月８日（水）１７：００

当開催要領は、ホームページ（https://agridtc.or.jp/nittei.html）に掲載しています。

キャンセルポリシー：
お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。
・７月８日（水）　１７:００まで …… １０,０００円
・７月８日（水）　１７:００以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：
一般社団法人農業開発研修センター　研究会受付係

〒６０１－８５８５　京都市南区東九条西山王町１（京都ＪＡビル）
ＴＥＬ：０７５－７４８－０７０３
ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５
E-mail：seminar@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp

アクセス：ＪＲ京都駅（八条口）より徒歩５分

（ＱＲコードもご参照ください）

日　　程：

≪第１日目≫　７月１５日（水）

13:30～13:40　**開会あいさつ**　　一般社団法人農業開発研修センター　会長理事　　増田　佳昭

13:40～13:50　**オリエンテーション**　　摂南大学　農学部　　特任教授　　北川　太一　氏

13:50～15:10　**報告Ⅰ　世界的にみた協同組合運動の潮流**
（うち質疑応答約10分）　**－混迷する経済・社会状況の中でなぜ協同組合が注目されているのか－**

日本労働者協同組合連合会　理事・専務理事補佐　　中　野　　理　氏
国際協同組合同盟（ＩＣＡ）理事

○国際協同組合同盟（ＩＣＡ）理事、産業労働者・熟練工業者・サービス生産協同組合国際機構（ＣＩＣＯＰＡ）副会長、ＣＩＣＯＰＡアジア太平洋会長
○世界的に評価・注目されているわが国の協同組合運動の潮流と今後の課題
○わが国の農業協同組合に期待したいことは何か

15:10～15:30　休　　憩

15:30～16:50　**報告Ⅱ　枚方信用金庫における地域創生の取り組み**
（うち質疑応答約10分）

枚方信用金庫　　会　長　　吉　野　敬　昌　氏

○1950年(昭和25年)創立。出資金11億円、預積金残高5,084億円、貸出金残高2,455億円、店舗数20店舗。大阪府の北河内地域の７市で狭域深堀戦略の事業展開
○令和６年度第15回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞にて経済産業大臣賞を受賞。令和７年度「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」に選定され内閣府地方創生担当大臣から表彰を受賞
○地域ネットワーク（行政・事業者・商工会議所・商工会・各団体）との連携により営業エリアの地域資源を活かした地方創生の取組みに貢献

≪第２日目≫　７月１６日（木）

9:30～10:50　**報告Ⅲ　ＪＡの理念・存在意義と役割をどう考えるか**
（うち質疑応答約10分）　**－東日本大震災後の経験を踏まえて－**

福島大学　　学長補佐・食農学類教授　　小　山　良　太　氏

○専門分野は農業経済学、地域経済学、協同組合学。著書に『逆風に立つＪＡ、地域を支える協同組合の原点へ』（生活と自治)、『国際協働組合年（ＩＹＣ）と協同組合教育』(JA経営・人づくり研究会通信)、『災害からの復旧・復興に向けた現状と課題－令和６年度農業白書を踏まえて－』(月刊ＮＯＳＡＩ）等多数執筆
○昨今の組合員の多様化によるＪＡへの関わり方の変化－多様な組合員の存在を前提とした組織のあり方とは－
○「協同組合」として組織活動や総合事業の展開を図るために、ＪＡのあり方を改めて考える

10:50～11:10　休　　憩

シンポジウム「ＪＡの理念をどう伝え、実践するか」

11:10～11:30　**座長解題**
摂南大学　農学部　　特任教授　　北　川　太　一　氏

＜座長解題＞
○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
○２つの実践報告の関連と意味付け

11:30～12:30　昼　　食

12:30～13:30　**実践報告①　わがＪＡの組合員との関係性強化に向けた取り組み**
－人づくりの強化による職員の意識・意欲の向上－

埼玉県　さいたま農業協同組合　人事部
部　長　　遠　藤　一　秀　氏

○平成12年４月に誕生した９市（一部除く）１町を管内とするＪＡ。組合員総数58,711名（うち、正組合員17,549名）、貯金10,112億円、貸出金2,889億円、長期共済保有高20,474億円、販売品販売高31億円、購買品供給高54億円（令和６年度実績）
○組織基盤強化プロジェクトチーム「ＪＡＮＰ（ジャンプ）」を2018年に発足。次代のＪＡを担う若手・中堅職員をメンバーとして組合員との関係強化実現のための改革を実践
○エンゲージメント調査による職員の意識・モチベーション向上に向けた取り組みの一環として役員との対話の場の設定や「目安箱」の設置、職員向け広報誌「おもてなし新聞」の発行

13:30～13:40　休　　憩

13:40～14:40　**実践報告②　わがＪＡの組合員との関係性強化に向けた取り組み**
－「すべては組合員とともに」をメインテーマとした協同活動の展開－

岐阜県　ぎふ農業協同組合
代表理事組合長　　岩　佐　哲　司　氏

○昭和38年に誕生した６市３町を管内とするＪＡ。組合員総数97,464名（うち、正組合員38,796名）、貯金10,377億円、貸出金2,633億円、長期共済保有高16,485億円、販売品販売高88億円、購買品供給高61億円（令和６年度実績）
○役職員行動指針「ＪＡぎふフレームワーク」による協同組合が取り組むべき本来活動の実践、支店プラザ運営委員会などへの組合員の参画による協同活動の展開
○組合員を意識した事業活動の展開と実現をめざした職員の協同組合としての意識改革の実践

14:40～15:10　休　　憩

15:10～16:30　**討　　論**
（座　　長）前掲　　北　川　太　一　氏
（ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ）兵庫県農業協同組合中央会　参　事　竹　中　貴　文　氏
摂南大学　農学部　准教授　川　﨑　訓　昭　氏

17:30～19:30　懇談会

≪第３日目≫　７月１７日（金）

9:30～10:20　**報告Ⅳ　トップが語るわがＪＡの経営戦略**
（うち質疑応答約10分）
－これまでの改革の取り組みとこれからの挑戦－

茨城県　北つくば農業協同組合
代表理事組合長　　川　津　　修　氏

○平成５年に誕生した３市を管内とするＪＡ。　組合員総数23,038名（うち、正組合員14,242名）貯金2.334億円、貸出金401億円、長期共済保有高4,858億円、販売品取扱高181億円、購買品供給高63億円(令和６年度実績)
○これまでの改革を振り返ってーさらなる飛躍のためにー
○一大産地・一大食料基地として果たすべきわがＪＡの役割－取引市場へのトップセールス、産地振興ビジョンの策定など改革の実践－

10:20～10:30　休　　憩

10:30～11:40　**報告Ⅴ　いまわが国総合農協に問われているものは何か**
（うち質疑応答約10分）

滋賀県立大学名誉教授　　増　田　佳　昭　氏

○専門は農業経済学、農協論。著書に『つながり志向のＪＡ経営』、『ＪＡは誰のものか』（家の光協会）など多数執筆
○改正農協法10年－政府主導の農協改革が突きつけたものとＪＡ自己改革
○地域農業振興への再チャレンジと地域農業振興ビジョンの重要性
○農業者の減少、基礎組織の弱まりとＪＡガバナンス改革の課題

11:40～11:50　**閉会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　常務理事　　瀬津　　孝

注）講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター　行き
〈ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５〉

令和８年度（通算第５５回）農協問題総合研究会参加申込書

〒　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

ご 住 所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）　　（ふりがな お名前）

部課・役職名	参 加 者 氏 名（ふりがな）	会友同時加入（希望者は○）	昼食(弁当)（希望者は○）	懇談会（希望者は○）
〈 記 入 例 〉 総 務・企 画 課 長	けんしゆう たろう 研 修 太 郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送 金 状 況〉

１．振込（予定）先 ‥‥‥ イ．京都信連　ロ．京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

２．振込（予定）日 ‥‥‥　　月　　日

注１）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
≪申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。≫
２）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

農業開発研修センター研究会年間予約コース申込書

※１：ご希望されるコースに○印をお願いします。
※２：詳細は本要領に掲載しております案内パンフレットもしくは当センターホームページをご覧ください。

受講コース（該当する「コース名」および「申込人数」のカッコ欄に○印、または人数を記載）	コース名	申込人数
	（　）Ⅰ フルコース	（　）１名コース　（　）２名コース
	（　）Ⅱ 金融・共済コース	（　）名
	（　）Ⅲ 営農経済コース	（　）名

令和８年度　農業開発研修センター研究会
年間予約コースのご案内

－“人づくり”が重要な今、役職員の年間研修計画にご活用ください－

研究会年間予約コースは、３つのコースを設定しています。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください。

【メリット】・年間予約制のため受講費の事前確定、受講費の予算化が可能
・役職員の研修計画を担当部署で一括管理が可能

（参加費：税込）

Ⅰ　年間7回のフルコース（２名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に１名、ないし２名参加のコースです。ＪＡにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（9月開催）
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○特別研究会（11月開催）※各年度の時宜に適ったテーマを設定
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（１月開催）
○ＪＡ金融問題研究会（２月開催）

Ⅱ　金融・共済コース（１名15.4万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた４回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○特別研究会（11月開催）※各年度の時宜に適ったテーマを設定
○ＪＡ金融問題研究会（2月開催）

Ⅲ　営農経済コース（１名14.3万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の４回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（9月開催）
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（1月開催）

詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。

一般社団法人農業開発研修センター

令和８年度農業開発研修センター研究会開催一覧（予定）

※現地視察等については参加費とは別料金

7月 農協問題総合研究会（通算第55回）

【時　期　・　期　間】7/15（水）～17（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（組合長・理事長、専務など）、企画担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のＪＡ運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月 地域農業振興に関する研究会（通算第50回）

【時　期　・　期　間】8/20（木）～21（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、市町村議会・農政担当部署
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月 農産物流通研究会（通算第57回）

【時　期　・　期　間】9/10（木）～11（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ部会リーダー
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

10月 ＪＡ共済総合研究会（通算第33回）

【時　期　・　期　間】10/21（水）～23（金）　３日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（共済担当役員など）、共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ運動とＪＡ経営の双方の視点からＪＡ共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月 特別研究会

【時　期　・　期　間】11/19（木）～20（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補、都道府県農協指導検査部署担当者
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマにより実施する。他の研究会よりもテーマをさらに専門に特化した企画内容に力点をおき，実践報告や専門研究者等からの報告と重要課題をテーマにしたシンポジウム方式を採用して実施する。

1月 ＪＡの営農事業改革に関する研究会（通算第５回）

【時　期　・　期　間】1/21（木）～22（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興・活性化の課題（地域農業振興計画の策定・実践を含む）の解明とＪＡの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

2月 ＪＡ金融問題研究会（通算第45回）

【時　期　・　期　間】2/ 4（木）～5（金）　２日間　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（信用・共済担当役員など）、信用・共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡ金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにＪＡ金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒６０１－８５８５
京都市南区東九条西山王町１　京都ＪＡビル内
一般社団法人農業開発研修センター
ＴＥＬ：075－748－0703　　ＦＡＸ：075－748－0855
Mail　：info@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp/